



UNITE FOR GOOD

釧路西ロータリークラブ会報

会長方針「Rotaryの良さを!」

本年度 第22回(通算第2460回)

プログラム「クラブフォーラム・次年度活動計画案」夜間例会

担当 次年度理事会

■2026年5月25日(月) 18時30分～ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル釧路

【会長】杉野 史和 【副会長】大場 恵治 【幹事】佐々木 進 【副幹事】加納 則好・平 信二

★ 点鐘 杉野 史和 会長

★ ロータリーソング

「我等の生業」

♪ソングリーダー 舟木 雅司君



★ 会長挨拶 杉野 史和 会長



皆さん、こんばんは。本日は次年度活動計画案ということで、とうとう次年度がスタートするのだなという感じになって参りました。各委員長、会長幹事は活動計画を作るのに大変苦勞されたと思います。本日は宜しくお願い致します。活動計画は次回例会の6月8日にガバナー補佐が来られますので、その時のための大事な活動計画ですので、本日は案をきっちり練ってやって頂きたいと思います。

私の年度のことですが、今週27日に以前よりお話ししておりました、まりも学園にパソコンを寄贈して参ります。また終了しましたら報告させていただきますので、宜しくお願い致します。本日は宜しくお願い致します。

★ 幹事報告 佐々木 進 幹事



・公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま vol 314号」が届いております。

- ・北海道釧路鶴野支援学校 後援会より
「後援会役員会 及び 総会のご案内」が届いております。

【本日のプログラム】

「クラブアッセンブリー・次年度活動計画案」 担当 次年度理事会

次年度会長 菊地 康平君



皆様お疲れ様です。それでは菊地年度、会長方針を発表させていただきます。
会長方針は『みんなで作るロータリー』です。
国際ロータリー 2026 年から 2027 年度オンラインカ・ハキーム・ババロラ会長は今年度のメッセージとして『持続可能なインパクトを生み出そう』を発表されました。ロータリアンの使命を持ち自分自身の中で持続可能な変化をどう生み出していくのかを常に考え、「グッド」から「ベター」そして「ベスト」になるよう考えるのが大事だと言っております。このベストをスタンダードにすることが持続可能なインパクトを生み出せると考えます。また、第 2500 地区山本ガバナーは「親睦から始まる持続可能な奉仕！」を地区スローガンにしました。親睦とは遠慮せずお互いの意見を言い合い尊重し、より良いものを皆で作りが上がることが大事だと考えました。そこで次年度の会長方針を『みんなで作るロータリー』とさせていただきました。それぞれメンバーには色々な役割があると思いますが、私は副だからとか、委員ではないからと遠慮するのではなく、良い案があれば色々な意見を取り込み、会を再構築出来るおのこの知識や経験、人脈などを生かし、集め、みんなで新しいスタンダードを構築し共に作り上げることが大切です。このプロセスを通じて会員間の一体感、仲間意識、

充実感が生まれ、生き生きとロータリー活動が出来ると思います。最近、人口減少などにより会員数が減少してきております。このような背景から会員増強の退会防止の観点では、生き生きとしてロータリアンが集まることで、新たなメンバーが寄ってくるのではないかと思います。皆で今日はロータリーの日だとワクワク出来るような会にして行きましょう。これからも共に努力し、持続可能なインパクトを生み出していくことを目指していきましょう。

～以下の発表と確認、調整が行われました～

・クラブの概要と会務方針

期首会員数 26 名

1 年未満 1 名	1 ～ 3 年未満 0 名
3 ～ 5 年未満 3 名	5 ～ 10 年未満 3 名
10 ～ 25 年未満 10 名	25 年以上 9 名
最高年齢 85 歳 最低年齢 34 歳 平均年齢 54 歳	
30 代 1 名	40 代 4 名
50 代 9 名	60 代 4 名
70 代 5 名	80 代 3 名

- ・委員会メンバーについて
- ・各委員会より活動方針発表
- ・年間のプログラムについて
- ・その他、活動計画書のチェック〈訂正部分〉

★ 点鐘 杉野 史和 会長

★次週例会の御案内

6 月 8 日(月) 18 時 30 分～

「クラブアッセンブリー
G 補佐公式訪問」夜間例会

担当 次年度理事会

〈今週のスナップ〉



笑顔の二人